



大爆発!!

新田選手 1試合21ゴールの最多記録樹立!!

11月29日(土)に現在首位の「Love☆papageno」(以下ラブパパ)vs「ASシュラスコMIX」(以下シュラスコ)の試合がおこなわれた。ラブパパとしてはここ2戦で首位奪還に成功し、このまま一気にシーズン終了まで突っ走りたいところ。一方のシュラスコは前節でインプレシオンに勝利し、ここからプレーオフ進出にむけて白星をかさねていきたいところだったが…。

試合は前半開始から圧倒的にラブパパのペースで進む。開始3分までに3点のリードを奪いなおも攻めの姿勢を崩さない。一方のシュラスコはディフェンスに要する時間が長くなり、時折カウンターを狙い高野選手にボールを集め、シュートを放つも惜しくも枠を捉えられずなかなかゴールを決められない。そんな中ラブパパは女性陣をうまく囿りに使い男性陣が次々とゴールを決める。圧倒的にラブパパが攻め続けた前半は12-1と大量リードで終了する。

後半も攻撃の手を緩めないラブパパ。そしてここからは新田選手の独壇場となる。開始30秒でこの日6点目(女性ゴールは3点のカウント)を決めると1分後には9点目。そしてシュラスコが新田選手にマークを厳しくすると今度は自らパスを出し菅野選手のゴールをアシスト。こうなるともう手がつけられない。この後の4分間は新田選手と菅野選手のコンビプレーで菅野選手が2得点2アシスト、新田選手が3得点1アシスト。これでシュラスコの集中力は完全に途切れてしまった。勢いのラブパパを止める術はなく次々とゴールを許してしまう。こんな中一人気を吐いたシュラスコ齋藤選手。一人でもゴールに向かう姿勢を崩さず果敢に立ち向かったが、勢いに乗るラブパパを止めることは出来ない。気づいてみればラブパパの得点は30点を超えている。なおも攻撃の手を緩めないラブパパは試合終了までに38点の過去のリーグを振り返ってみても例のない得点を奪い勝利をあげた。

この試合だけで勝点11を稼いだラブパパ。2位インプレシオンとの差を大きく広げ独走態勢に入った。このまま前STAGEに続き2連覇達成することができるのか?それとも2位インプレシオン、はたまた3位につけている1st STAGE王者ソル・ナシエンテがこの勢いを止めるのか?残り試合はわずか。果たして今STAGEの結末は?!

ASシュラスコMIX		IMPRESIO'N FC
1	前半	12
0	後半	26
1	計	38

シュラスコ 集中力途切れる…